

授業科目名	小児看護学援助論	担当教員	学内講師 木村真司 他		
開講年次及び学期	3年次前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
授業の目的（概要） 疾患や障がいをもつ子どもとその家族に対して、発達段階を踏まえ、かつ科学的根拠に基づいた看護を行うために必要な基本的知識と援助方法について学習する。					
学修成果（到達目標） 1.健康障がいが子どもの成長発達や生活におよぼす影響について説明できる。 2.子どもの健康障がいが家族におよぼす影響について説明できる。 3.子どもに特徴的な疾患の治療・処置・検査・診察について説明できる。 4.子どもの特徴的な疾患の診療上・日常生活上において必要な看護援助について科学的根拠に基づいて説明できる。 5.健康障がいをもつ子どもと家族が社会で質の高い生活を送ることが出来るよう、保健・医療・福祉・教育などの多職種が連携・協働した支援を行う必要性と、支援チームにおける看護師の役割について説明できる。 6.健康障がいをもつ子どもとその家族の倫理的課題について考えることができる。 7.模擬事例の看護過程が展開できる。					
キーワード 小児看護 子ども 家族 看護過程 看護技術					
授業の進め方 これまでに小児看護学概論で学習してきた疾患・病態生理、検査・治療などをふまえ講義・演習を行う。 シラバスを確認し、次回の学習内容について予習をしておくこと。 対面講義、Webexによるライブ講義およびオンデマンド型講義を併用して実施する。					
成績評価の方法（合否基準） 試験（50％）、リアクションシート（10％）、演習の課題（40％）で評価し、60点以上を合格とする。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 <教科書> 1.奈良間美保 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学2「小児臨床看護各論」医学書院, 2020. 2.渡邊トシ子 編：ヘンダーソン・ゴードンの考え方に基づく実践看護アセスメント 第3版, ヌーベルヒロカワ, 2011. <参考書> 1.浅野みどり（編）：根拠と事故防止からみた 小児看護技術（第3版）, 医学書院, 2020.					
オフィスアワー 主に木曜日 メールでも連絡可（E-mail：s-kimura@~）。その場合、学年と名前を明記してください。					

モデル・コア・カリキュラムとの関連

D-1-2) 多面的なアセスメントと対象者の経験や望み（意向）に沿ったニーズ把握

ねらい：対象者の多様な情報（生活者としての側面、生物学的に共通する身体的・精神的な側面、環境との関係の側面、成長・発達の側面）を収集し、看護の視点から統合して対象者の経験や望み（意向）を共有しながらアセスメントする方法を学ぶ。

学修目標：

- ① 対象者の状況に応じて看護に必要な情報を収集できる。
- ② 得られた情報を系統的・継続的に整理し、アセスメントできる。
- ③ アセスメントに基づき対象者の全体像を描くことができる。
- ④ 対象者（状況に応じて対象者と家族）の経験してきたことや望み（意向）を共有しニーズの把握につなげることができる。
- ⑤ 全体像を描きながら対象者のニーズを見いだすとともに優先順位を決定できる。

D-3-2) 小児期にある人々に対する看護実践

ねらい：小児期は、新生児期から乳幼児期、学童・思春期、更に青年期に至るまでの目覚ましい成長・発達段階にある。家族との愛着形成を基盤に、自己概念の形成、セルフケア獲得、社会生活への適応等の発達を遂げることを理解し、子どもと家族の健康習慣の形成、健康状態に応じた養育や生活の調整、安全・安楽の保持等により、子どもが自分らしい生活を実現できるよう看護実践を学ぶ。

学修目標：

- ① 子どもの権利擁護の重要性を理解し、看護を実践できる。
- ② 子どもの成長・発達に関してアセスメントできる。
- ③ 成長・発達段階に適した看護実践の方法を見いだすとともに、セルフケア獲得等の成長・発達そのものを家族とともに支える看護を実践できる。
- ④ 子どもの成長・発達と健康上の課題を統合するとともに、病院や家庭、学校等の場に応じた対象者のニーズを捉えて看護を説明できる。
- ⑤ 病気や入院生活が子どもに及ぼす影響を理解し、苦痛の緩和、安全・安楽の保持を基本とする看護を説明できる。
- ⑥ 子どもに特有な看護技術を理解し、対象者に適した方法で実践することについて説明できる。
- ⑦ 様々な病期・症状・治療に応じた子ども（医療的ケア児を含む）の特徴を理解し、必要な看護を説明できる。
- ⑧ 発達段階によって生じやすい小児期特有の健康問題の特徴と必要な看護について説明できる。
- ⑨ 子どもの病気や入院生活が家族に及ぼす影響を理解し、病状や発達段階、家族の特性に応じて家族全体への看護を説明できる。
- ⑩ 虐待等、特別な状況にある子どもや家族、社会の特徴を理解し、必要な看護を理解できる。
- ⑪ 成人移行期における治療継続や自分らしい生活の実現のための看護を説明できる。

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	配信方法	テーマ	授業内容	担当者
1	4月7日	13:00～ 14:40	N21	オンライン	オンデマンド	小児看護の特徴と意義	小児看護の目的、ケア方法	木村
2		14:55～ 16:35		オンライン	オンデマンド	子どもと家族の看護①	小児がんの子どもと家族の看護	木村
3	4月14日	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	小児の疾患①	小児血液疾患の診断と治療	小児科 (金井)
4		14:55～ 16:35		オンライン	ライブ (Webex)	看護過程の展開①	演習:小児の発達を踏まえた看護過程 事例説明(白血病の子どもの看護)、個人ワーク	木村
5	4月21日	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	子どもの事故防止	子どもの保健:事故と予防	木村
6		14:55～ 16:35		オンライン	オンデマンド	子どもと家族の看護②	腎・泌尿器疾患の子どもと家族の看護	木村
7	4月28日	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	子どもと家族の看護③	内分泌・代謝性疾患の子どもと家族の看護	木村
8	5月12日	13:00～ 14:40	〃	オンライン	オンデマンド	プレパレーション①	小児患者のプレパレーション	CLS (黒崎)
9		14:55～ 16:35		オンライン	ライブ (Webex)	看護過程の展開②	演習:事例展開(情報の整理) *個人ワークを基にグループワーク	木村
10	5月19日	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	看護過程の展開③	演習:事例展開(アセスメント)	木村
11		14:55～ 16:35		オンライン	ライブ (Webex)	看護過程の展開④	演習:事例展開(関連図作成・看護計画立案)	木村
12	5月26日	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	小児の疾患②	小児神経疾患の診断と治療	小児科 (東本)
13		14:55～ 16:35		オンライン	ライブ (Webex)	小児の疾患③	小児循環器疾患の診断と治療	小児科 (安田)
14	6月2日	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	プレパレーション②	演習:事例患者へのプレパレーション(計画)	木村

備考

- ・グループワークの時間は、ミーティングルームを開けておくので必要時入ってください。
- ・質問があれば、moodleの質問箱(フォーラム)にディスカッショントピックを追加してください。
- ・課題の書式、締め切り等はMoodleを参照してください。

授業計画

[illegible]